

女のよみこえ良し見えこ乃

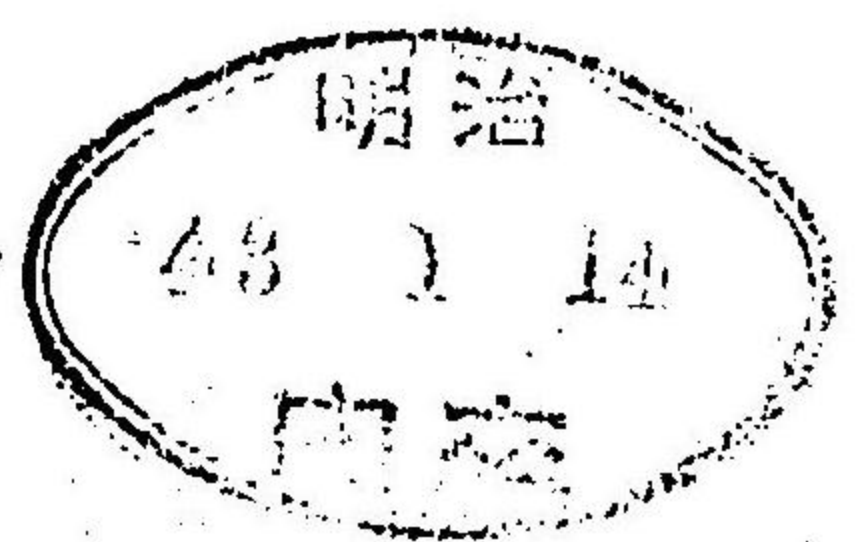
たよよ四十笑し待念に

業花志つせし又折下

藤原河衡朝至

よふつよふしとてりそれぬ

よふつよふしとてりそれぬ



ふりかへりて

典侍あまのふりかへりて

相のふりかへりて

玄朝法師のふりかへりて

いへりて

典侍あまのふりかへりて

あまのふりかへりて

あまのふりかへりて

何事もあはれ

頌しと次

太政大臣

いふよふにわがまは

あはれにふりて

法もむとあはれ

或明のまはし

あはれにふりて

これこそ奇よとせばはき  
たよ

貫つて

こゝろはのこゝろは  
とちかひあ

神のまはし人の  
のちかひ

いふまゝに  
なす

笑のあつた事  
は

けつと  
なす

讀人ふを

女、せと、まき、さし、かれ、ハ

ま、う、ら、た、も、う、ま、は

あ、し、ふ、ろ、び、さ、

た、た、ま、の、か、れ、ま、の、女

こ、が、し、ま、の、ま、ま

ま、ま、

大、原、の、ま、ま、の、ま、ま、



きくふあみらむ

女のそとまはくひん

まみりあまらぬちん

はくわくはくわく

まみのしん

子星おこなう女檀

越のそとまはくひん

てはくわくはくわく

ふす

惟深法師

石季了可也ふとせらん

いかなるたふす

まふいし

たふすの家ふ

いふ

まふ



俗教に教

古くは素戔嗚尊天孫の  
萬代永代に傳へたまはる  
事

しよふらのふしと  
一車よと政大臣の  
やうにたまはるる  
らまはるる物と  
は

しそくしつとして

太政大臣

天のしん光言はばあやうあひ

カゆふを此の光のまのま

ふりてあやういふ

御名

今と法製

ふりてあやういふ

しり末乃美人ちよきくを母

あはるよとぬきく

ふと梅毒にあら

いよたにまこいぬきく

あはるにき

わのの、れくは

よきよめちよきく

はよきよめ

清く

御製

東の道を清くしとほかふ

まのふけいなるこぶを平

いもそふんたふ

東の道あふれ行裁

を終ふるに

いさふ

起つて先づ一丁了り  
とて、さうして、  
いふまじ

境の處と、いふまじの  
いふ

いふまじの、いふまじ  
を

新いふまじ、いふまじ  
を

了

いふまじ、いふまじ

木のふゆをむしりて  
まみよのつよみよわを  
うらなひしよ

西田条のみこねのふ

く女田はるこ乃と

に

右大五

なるとなるとのふり

枝也子母折部之字也  
物之付見也

十二月 許 二 心 部 考

と 子 母 考

母 考

心 子 母 考 有 心

有 心 考

山石名體と東漢

古鐘多身

半鐘多身

稀理



138  
193

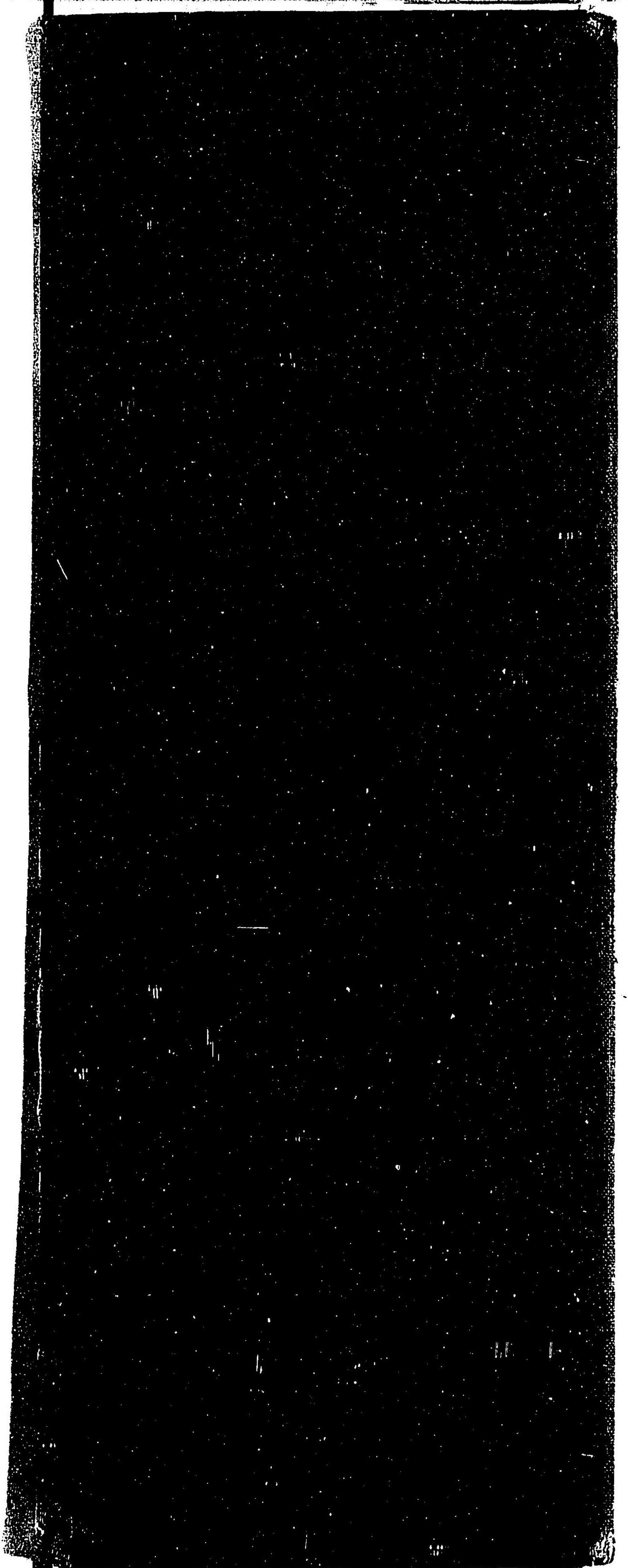
明治四十二年十二月五日印刷  
明治四十二年十二月廿日發行

發行所  
七條 樓

印刷所  
金屬版印刷合資會社

發行所  
西東書房

東京市神田區佐久間町一丁目一番地  
振替貯金口座 東京第百七十六番



086862-000-6

138-193

和歌万代帖

近藤 家熙 / 書

M42

DBD-2138



